

第2回 建築ドローンシンポジウム「建築×ドローン2018」

建築分野においても、徐々に建築物の点検調査、災害等でドローンの活用が検討され始めている。このような社会的背景の中で、日本建築学会「UAVを活用した建築保全技術開発WG」でも、建築物の維持保全に関わるドローン技術の情報収集や実証実験を行ってきた。

第2回 建築ドローンシンポジウムでは、ドローンによる建築物の点検・調査をキーワードとし、①建築分野及び国交省基準関連の動向、②効率化・省力化点検に関わるドローンによる建物へのアクセシビリティ、コスト・調査時間の影響、ドローンによる自動化技術、③建物外壁点検の調査方法に関わる打音検査、赤外線装置による検査、音響深査法による検査について、最新技術の情報を提供する。また、建築学会災害委員会と連携し、災害震災時における建築ドローン技術の活用の現状について紹介するとともに、課題を整理する。

主催 日本建築学会 材料施工委員会 耐久・保全運営委員会
後援予定 日本建築仕上学会、日本建築ドローン協会、日本ドローンコンソーシアム、
日本UAS産業振興協議会、日本ドローン無線協会
日時 2018年5月17日(木) 13:00~17:00
会場 建築会館ホール(東京都港区芝5-26-20)

<プログラム>

司会：兼松学(東京理科大学)

1. 主旨説明 宮内博之(建築研究所)
2. 【動向】建築分野におけるドローン技術の動向と展望 宮内博之(前掲)
3. 【基準】非接触方式による外壁調査の診断手法及び調査基準に関する検討
真方山美穂(国土技術政策総合研究所)
4. 【効率】ドローンによる建物点検へのアクセシビリティの検討 兼松学(前掲)
5. 【省力】ドローンを活用した建物点検の効率化・省力化の検討 二村憲太郎(西武建設)
6. 【自動】ドローンを活用した建築物の自動点検調査システムの開発 石田晃啓(三信建材工業)
7. 【打音】ドローンを用いた外壁タイル仕上げの打音検査
河辺伸二(名古屋工業大学)、渡辺正雄・中島圭二(コンクリート技術支援機構)
8. 【赤外線】赤外線カメラを搭載したドローンによる建物検査 大場喜和(日本ERI)
9. 【音響】非接触音響探査法による外壁調査の効率性向上に関する検討 杉本恒美(桐蔭横浜大学)
10. 【構造】災害における建築ドローン技術の活用可能性 楠浩一(東京大学)
11. まとめ 鹿毛忠継(国土技術政策総合研究所)

定員：180名

参加費：会員 4,000円 後援団体 5,000円 会員外 6,000円 学生 2,000円

(資料代含む/当日払い)

Web申込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=613721> よりお申し込みください。

問合せ：事務局事業グループ 浜田 TEL 03-3456-2051